



2024年3月15日

各位

上場会社名 広島ガス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松藤 研介  
(コード番号：9535 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 総務部長 沖田 康孝  
TEL 082-252-3000 (広報室)

## 上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2023年12月末時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状況となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

### ○当社の上場維持基準への適合状況および計画期間

当社の2023年12月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおり、【1日平均売買代金】の基準に適合していません。当社は、今回不適合となった【1日平均売買代金】を充たすため、上場維持基準への適合に向けた各種取り組みを進めてまいります。

		1日平均売買代金
当社の 適合状況 及び その推移	2022年12月末時点	2,223万円
	2023年12月末時点	1,978万円
上場維持基準		2,000万円
計画期間		2024年12月末まで

※2022年12月末時点および2023年12月末時点の当社の適合状況は、東京証券取引所より受領した上場維持基準への適合状況に関する通知をもとに金額の記載を行ったものです。

### ○上場維持基準の適合に向けた当社グループの課題、基本方針、具体的な取り組み

[これまでの経緯等]

当社は、2021年7月の新市場移行に関する適合状況判定時において、今回同様に一日平均売買代金のみ未達成でした。そのため、2021年12月に上場維持基準への適合に向けた計画の作成、開示など所要の手続きを経て経過措置の適用を受け、2022年4月に東証プライム市場に移行しました。その後、2022年末等の上場維持基準判定において全ての基準を達成し、適合会社に移行しております。今回は、上記のとおり2023年末時点の判定において基準未達となったため、その後の当社および外部環境等の変化を評価検討のうえ、改めて適合に向けた計画を作成するものです。

## 1. 当社グループにおける課題

1日平均売買代金の構成要素は、株価と売買高（出来高）であるため、当社グループの課題として「株価の向上」および「売買高の向上」が挙げられます。

まず、「株価の向上」について、当社のPBR（株価純資産倍率）は0.4倍前後で推移しており、当社の企業価値に比して株価が低い水準にあるため、経営ビジョンや中期経営計画の目標達成等による企業価値の向上への取り組み、IRおよび株主還元施策の充実、資本コストおよび株価を意識した経営等による当社評価の向上への取り組みが必要と考えております。

次に、「売買高の向上」について、当社の現状における流通株式比率は上場維持基準に適合しているものの、売買高が低い状況にあるため、更なる流動性の向上が必要と考えております。

当社の株価、売買高等の現況は以下のとおりです。

### (1) 株価 (単位：円/株)

	2021年	2022年	2023年
平均	378	335	369
年末終値	368	344	382

- ・2023年は、年初は前年水準程度で推移し、その後、変動はあるものの総じて上昇傾向で推移し、年末終値は前年同期より11%上昇して382円/株となりました。
- ・2024年2月末時点の株価は、385円/株です。

### (2) 売買高（出来高） (単位：株/日)

	2021年	2022年	2023年
1日平均売買高	34,663	66,790	53,548

- ・2023年の1日平均売買高は、前年より19.8%減となりましたが、2021年水準と比較すると高い水準となっています。
- ・2024年初から2月末時点までの1日平均売買高は66,800株/日となっております。

### (3) 流通株式比率

	移行判定時	2022/3末	2023/3末	2023/12末
流通株式比率	48.3%	48.8%	50.4%	50.9%

### (4) 1日平均売買代金（2024年2月末時点）

- ・上記の株価および売買高から、2024年年初から2月末時点までの1日平均売買代金は2,603万円/日となっております。

## 2. 上場維持基準適合に向けた基本方針

プライム市場の上場維持基準適合に向けた当社グループの基本方針は、次のとおりであり、株価向上と売買高向上の相乗効果により、1日平均売買代金の上場維持基準適合をめざしてまいります。

### <基本方針>

当社は「広島ガスグループ 2030年ビジョン」を企業価値の向上および株価の向上に向けた長期的方針として位置付け、目標達成に向けた取り組みの継続により、揺るぎない経営基盤を構築していくことで、当社グループを永続的な成長へ導くことをめざしてまいります。

次に、2030年ビジョンの第2フェーズ（2024年度～2026年度）を対象とする次期中期経営計画（2024年4月公表予定）を中期的方針として位置付け、2050年カーボンニュートラルへの取り組み、SDGs実行宣言等を計画に沿って着実に進めることにより、企業価値を持続的に向上させてまいります。また、IRおよび株主還元施策の充実を通じて、当社株式の価値を高め魅力あるものとするにより「株価の向上」をめざしてまいります。

さらに、政策保有株式についての保有合理性の検証や各種施策の検討および実施により、当社株式の更なる流動性の向上を通じて「売買高の向上」をめざしてまいります。

### 3. 具体的な取り組みの内容

プライム市場上場維持基準のうち、「1 日平均売買代金」の充足に向けた具体的な取り組みの内容については、添付の『プライム市場の上場維持基準適合に向けた広島ガスグループの具体的な取り組み』に記載の通りです。

以 上



# プライム市場の上場維持基準適合に向けた 広島ガスグループの具体的取り組み

---

2024年3月15日  
広島ガス株式会社

HIROGAS

# 目次

<b>1. 上場維持基準適合に向けた基本方針</b>	・・・ 3
<b>2. 株価向上に向けた取り組み</b>	
(1) 2030年ビジョン達成に向けた諸施策の推進	・・・ 4
(2) 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進	・・・ 8
(3) 「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」の 重点項目推進	・・・ 12
(4) I Rおよび株主還元施策の充実	・・・ 15
(5) 資本コストおよび株価を意識した経営	・・・ 19
<b>3. 売買高向上に向けた取り組み</b>	・・・ 22



# 1. 上場維持基準適合に向けた基本方針

## (1) 株価の向上

当社は、「広島ガスグループ 2030年ビジョン」を企業価値の向上および株価の向上に向けた長期的方針として位置付け、目標達成に向けた取り組みの継続により、揺るぎない経営基盤を構築していくことで、当社グループを永続的な成長へ導くことをめざしてまいります。

次に、2030年ビジョンの第2フェーズ（2024年度～2026年度）を対象とする次期中期経営計画（2024年4月公表予定）を中期的方針として位置付け、2050年カーボンニュートラルへの取り組み、SDGs実行宣言等を計画に沿って着実に進めることにより企業価値を持続的に向上させるとともに、IRおよび株主還元施策の充実を通じて、当社株式の価値を高め魅力あるものとする事により株価の向上をめざしてまいります。

## (2) 売買高の向上

政策保有株式についての保有合理性の検証や各種施策の検討および実施により、当社株式の更なる流動性の向上を通じて売買高の向上をめざしてまいります。

## 2. 株価向上に向けた取り組み



### (1) 2030年ビジョン達成に向けた諸施策の推進

当社グループは、「広島ガスグループ2030年ビジョン」において、2030年度の経営目標として「広島ガスグループは連結経常利益70億円規模の企業グループに成長する」を掲げており、目標達成に向けた取り組みの継続により、揺るぎない経営基盤を構築していくことで、当社グループを永続的な成長へ導くことをめざしてまいります。

「広島ガスグループ2030年ビジョン」の内容は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 [https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/management/management\\_06.html](https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/management/management_06.html)

# 2. 株価向上に向けた取り組み

## 広島ガスグループ2030年ビジョン①

スローガン	幸せにつながる感動発信
基本方針	1. 経営施策を通じた感動追求
	2. エネルギーサービスを通じた感動追求
	3. 安心を通じた感動追求
	4. 人とのつながりを通じた感動追求
基本戦略 (チャレンジ)	1. 総合エネルギー事業の更なる拡大
	2. 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究
	3. デジタル技術の活用による高付加価値の創造
	4. グループ組織力の強化
	5. 安心安全の更なる追求
	6. 社会貢献活動の推進

経営理念：地域社会から信頼される会社をめざす



## 2. 株価向上に向けた取り組み

### 広島ガスグループ2030年ビジョン②

## 2030年度経営目標

広島ガスグループは連結経常利益70億円規模の  
企業グループに成長する

## 2030年の目指す姿

### (1) 販売量

	2022年度実績	2030年度
都市ガス事業	500百万m <sup>3</sup>	750百万m <sup>3</sup>
LPG事業	80千t	120千t

### (2) 事業構成比

	2022年度実績	2030年度
都市ガス事業	79%	70%
LPG事業	18%	20%
その他事業	3%	10%

※構成比は事業の規模感を示し、売上高比率のイメージ。

## 2. 株価向上に向けた取り組み

### 広島ガスグループ2030年ビジョン③

#### 2030年の目指す姿

#### (3) 経営指標

		2022年度実績	2030年度
収益性指標	ROA※1	3.9%	3.5%以上
	ROE※2	8.3%	8%以上
	EBITDA※3	143億円	160億円以上
安全性指標	自己資本比率	45.5%	50%程度
株主還元	配当性向	15.9%※4	30%以上※4

※1 ROA=当期純利益÷総資産×100

※2 ROE=当期純利益÷自己資本×100

※3 EBITDA=営業利益+減価償却

※4 短期的な利益変動要因を除く

## 2. 株価向上に向けた取り組み



### (2) 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進

当社グループは、「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定し、推進しております。

2030年までは、これまで実行してきた取り組みを中心に事業活動やお客さま先におけるCO<sub>2</sub>排出量の低減を着実に進めてまいります。

将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルをめざしてまいります。

「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の内容は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 [https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/w\\_new/release/2021/carbon1105.htm](https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/w_new/release/2021/carbon1105.htm)

## 2. 株価向上に向けた取り組み

### 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進①

#### 広島ガスグループにおける 2050年カーボンニュートラルへの取り組み

- ・ 2030年までは、これまで実行してきた取り組みを中心に事業活動やお客さま先におけるCO<sub>2</sub>排出量の低減を着実に進めていきます。
- ・ 将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルをめざします。

## 2. 株価向上に向けた取り組み

### 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進②

#### <2030年度CO<sub>2</sub>排出削減貢献の目標>

(1) 事業所・製造所におけるCO<sub>2</sub>排出削減量

11,500 t / 年 ※1 【2013年度比50%減】  
内 5,500 t / 年…① ※2 【2021年度以降】

(2) お客さま先におけるCO<sub>2</sub>排出削減貢献量

293,000 t / 年 ※2…②

(3) CO<sub>2</sub>排出削減貢献目標

300,000 t / 年 (① + ②)

※ 再生可能エネルギー電源の導入 6万kW ※3  
(再エネ電源導入に関わるCO<sub>2</sub>削減貢献量は30万tに含まれる)

※1 2013年度から2030年度までの取り組みによる2030年度時点でのCO<sub>2</sub>排出削減量

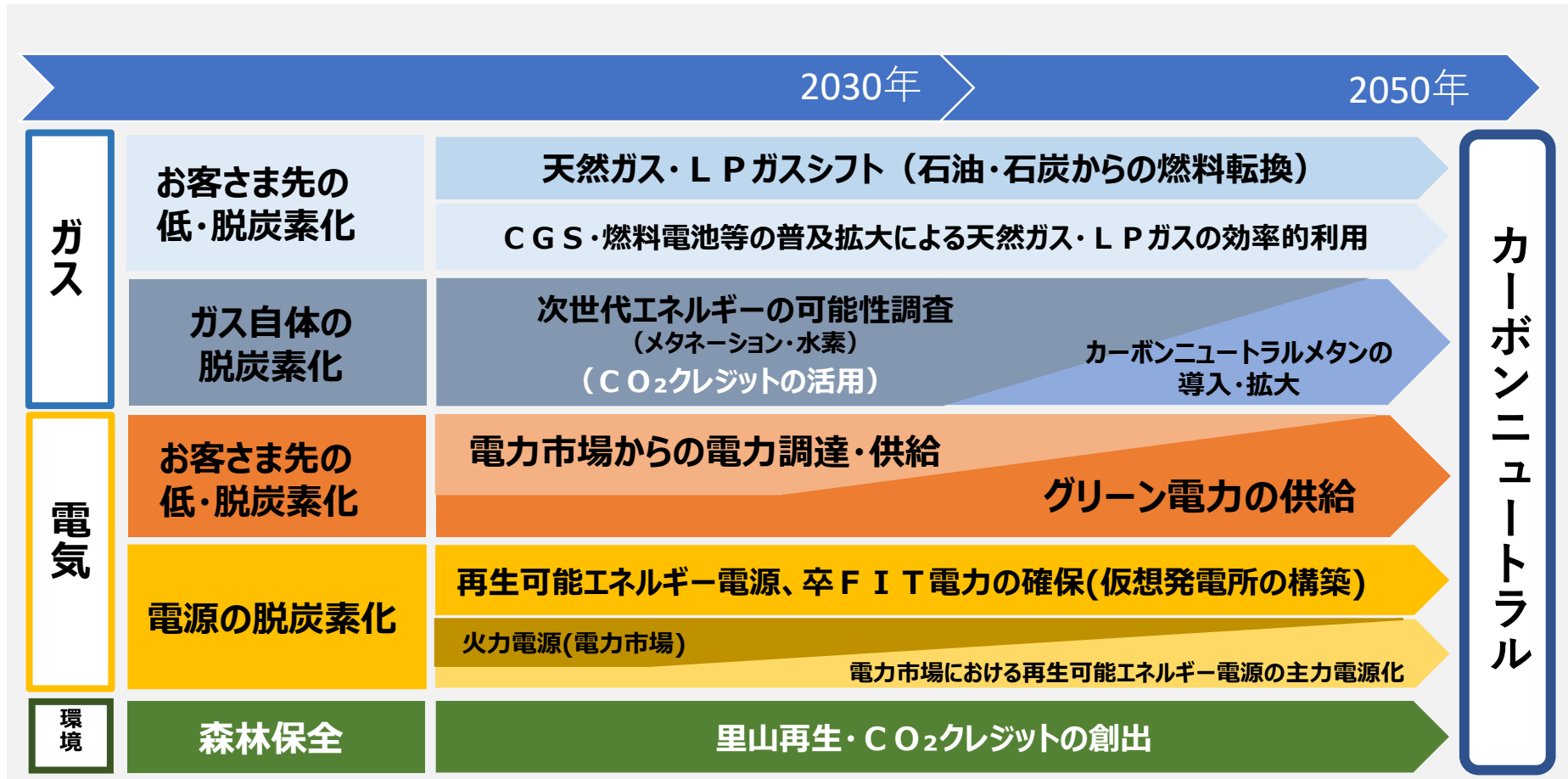
※2 2021年度から2030年度までの取り組みによる2030年度時点でのCO<sub>2</sub>排出削減貢献量

※3 固定価格買取(FIT)制度の適用電源を含む

# 2. 株価向上に向けた取り組み

## 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進③

### 【2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ】



## 2. 株価向上に向けた取り組み



### (3) 「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」の 重点項目推進

当社グループは、「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ~笑顔あふれる未来へのAction~」への取り組みを通じて、2030年ビジョン達成につながる事業活動と、国連で2030年までの目標として採択されたSDGsを「共通の目標」と捉え、これまで展開してきたESGを意識した不断の取り組みを強化し続けてまいります。

「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」の内容は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 <https://www.hiroshima-gas.co.jp/sdgs/>

# 2. 株価向上に向けた取り組み

## 広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言 ①

広島ガスグループ  
このまち思い SDGs 実行宣言 ~笑顔あふれる未来へのAction~





# 2. 株価向上に向けた取り組み

## 広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言 ②

### SDGs 実行宣言 4つの重点項目

#### ① エネルギーの普及拡大・安定供給



基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給等を通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

#### ③ 環境保全



環境負荷の少ない天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

#### ② 地域社会への貢献



広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

#### ④ 働きやすい社会のために



労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

## 2. 株価向上に向けた取り組み



### (4) I Rおよび株主還元施策の充実

I Rおよび株主還元施策の充実を通じて、当社株式の価値を高め魅力あるものとするにより株価の向上をめざします。

#### ① I Rの充実

I R説明会のリアル開催を基本としつつ、状況に応じてW e b開催への対応も進めることにより、株主さまへのP R機会を確保するとともに、当社ホームページ内のI R情報の充実に向けた取り組みを継続します。

当社ホームページのI R情報は以下のURLをご参照下さい。

【URL】 <https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/>

## 2. 株価向上に向けた取り組み

### ②株主還元施策の充実

当社は、徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、安定配当を継続することを基本方針としつつ、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、成長に合わせた配当を実施するものとし、配当の実施にあたっては、安定的・継続的に配当を行う基本方針のもと、短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上をめざすことを配当政策の基本としております。

配当額については、2010年度の1株当たり6円から2022年度には同12円へと増加させてまいりました（配当額および配当性向の推移は、17ページおよび18ページをご参照下さい）。

また、配当以外の株主還元施策として、2012年11月に株主優待制度を導入し、さらに2020年2月には、保有株式数や保有期間によってポイントを加算する仕組みを取り入れるなど、制度の充実を図ってまいりました。

今後も当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主還元施策の充実をめざしてまいります。

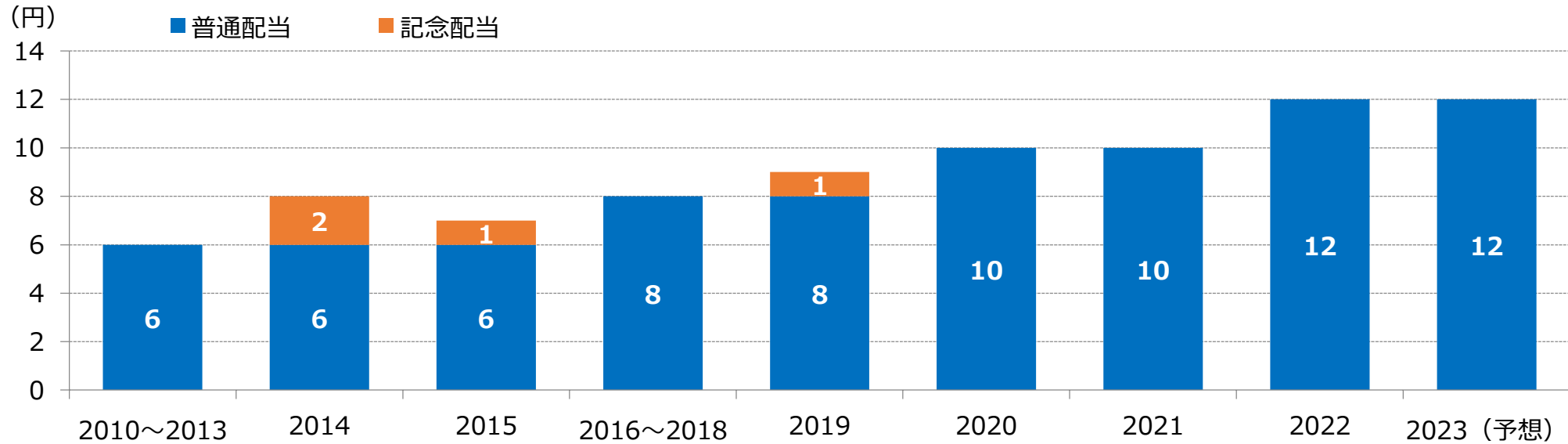
当社ホームページの株主優待制度は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 [https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/stock\\_bond/stock\\_bond\\_03.html](https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/stock_bond/stock_bond_03.html)

# 2. 株価向上に向けた取り組み

## 広島ガスの株主還元の状況

### 配当額の推移

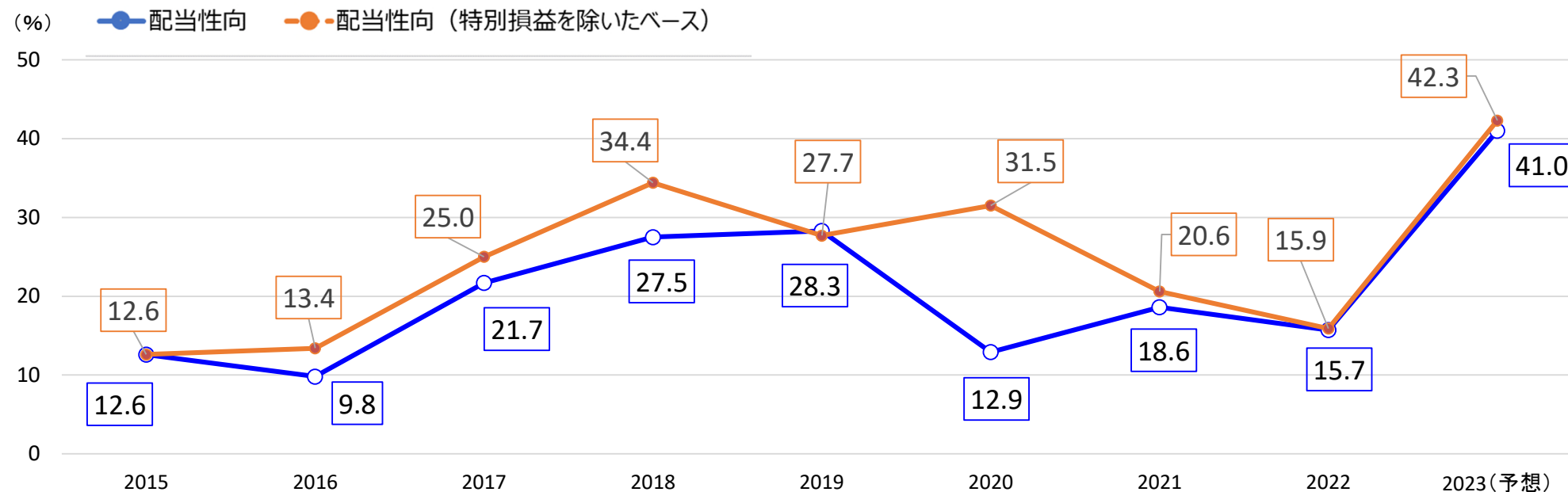


※ 2014年度は東証一部指定、2015年度は天然ガス供給開始20周年、2019年度は創立110周年に対して、記念配当を実施。

# 2. 株価向上に向けた取り組み

## 広島ガスの株主還元の状況

### 配当性向の推移



## 2. 株価向上に向けた取り組み



### (5) 資本コストおよび株価を意識した経営

収益計画を作成するにあたって、資本コストについても定期的に算定しており、資本コストを上回る利益を上げられるよう中期経営計画委員会の中で議論して、中期的な収益計画を策定しております。

## 2. 株価向上に向けた取り組み

### 広島ガスの現状および分析について

- 直近実績ではROE 8%（ビジョンでの2030年の目指す姿、経営指標参考値）を達成しているが、当期は未達成の見込み
- 低PBRの要因は、持続的にROE8%超を達成できていない事に加えて、低PERにもあり、収益力を高め、成長期待を醸成する事が必要

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (見込み)※2
PBR(倍)	0.73	0.65	0.54	0.53	0.49	0.49	0.50	0.37	0.38	0.40
期末株式数(千株)※1	65,392	67,717	67,871	67,579	67,730	67,891	68,119	68,240	68,371	68,488
期末株価(円/株)	416	384	364	381	345	358	416	335	354	382
1株あたり純資産(円/株)	571.02	590.12	675.18	715.19	708.98	725.78	833.38	906.61	943.96	954.57
配当額(円/株)	8	7	8	8	8	9	10	10	12	12
ROE(%)	7.9	9.4	13.0	5.3	4.1	4.4	9.9	6.2	8.3	3.0
PER(倍)	9.0	6.9	4.4	10.4	11.8	11.3	5.4	6.2	4.6	13.1

※1 期末株式数は自己株式を除いた数

※2 2023(見込み)については、2023年12月末において入手可能な情報に基づき算出

## 2. 株価向上に向けた取り組み

### 対応方針について

- ビジョン目標の継続的な達成を目指す
- 中期経営計画の重点項目（都市ガス事業およびLPG事業の「深化」、イノベーションの「創出」、経営基盤の「強化」）について着実に取り組み、利益を向上させていく

### 具体策について

- 「グリーン電力」の一般販売を2024年1月に開始
- 中期経営計画の達成による成長期待の醸成・理解ならびに連動した財務戦略および資本政策の実施
- 適時・適正なIRの継続による投資家の広島ガスへの理解向上
- サステナビリティ戦略と一体化した成長戦略の推進



### 3. 売買高向上に向けた取り組み

当社の現状における流通株式比率は、既に上場維持基準に適合しておりますが、更なる流動性の向上に向けて、政策保有株式については、コーポレート・ガバナンス報告書において公表している方針に則り、個別銘柄毎に定性面・定量面から検証を行い、保有合理性がないと判断された株式については縮減を図ってまいります。このうち、当社株式保有先については、各保有先の方針を尊重することを前提としつつ、持合いの解消を視野に調整を進めてまいります。

---

(注) 本資料に掲載されている経営目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります